

令和 6 年度 花巻新渡戸記念館運営協議会 会議録

1 開催日時

令和 6 年 10 月 29 日（火） 午後 1 時 30 分～午後 2 時 55 分

2 開催場所

花巻新渡戸記念館 事務室

3 出席者

（1）委員 3 名

木村清且委員（花巻市文化財保護審議会副会長）

佐々木豊委員（一般社団法人花巻観光協会専務理事）

多田アツ子委員（矢沢地域振興会）

（2）事務局 5 名

生涯学習部 菅野生涯学習部長、梅原生涯学習課長

花巻新渡戸記念館 嶽間澤館長、久保田副館長、中島上席主査

4 欠席委員 3 名

葛岡貞典委員（花巻史談会）

継枝イク委員（花巻市地域婦人団体協議会事務局長）

福盛田弘委員（花巻芸術文化協会副会長）

5 傍聴人 なし

6 議題等

（1）令和 5 年度事業報告について

（2）令和 6 年度事業について

（3）令和 7 年度事業計画（案）について

7 議事録

【会議成立の報告】（久保田副館長）

構成委員 6 名中 3 名出席。出席委員数が構成委員の半数以上なので、花巻新渡戸記念館管理運営規則第 9 条第 2 項により、本会議が成立することを報告。

【1 開 会】（久保田副館長）

【2 あいさつ】

（久保田副館長）

はじめに、菅野生涯学習部長よりごあいさつをお願いいたします。

（菅野生涯学習部長）

生涯学習部長の菅野と申します、どうぞよろしくお願いいたします。今日の朝は結構冷えましたけど、この通り新渡戸記念館の周りもだんだん紅葉して綺麗になってきて、冬も近づいてるのかなと思いますが、今月の 14 日、新渡戸家の縁で友好都市提携結んでおります十和田市との提携 35 周年ということで、十和田市で記念式典に参加してきました。

また花巻の方からも市民ツアー 36 名の出席で、奥入瀬溪流やあちらの現代美術館などを訪れるという企画で行ってきましたが、今度は十和田市から 16 日に市民ツアーの方々と市長さんはじめ関係者の方が来ていただきまして、記念式典をこの記念館の方で行うことになっていまして、ちょうどこのロビーで開催することで計画しています。こういった交流で改めて新渡戸家の功績を実感しましたし、また十和田市と今後も引き続き友好都市として長く続けられればいいかなと思って帰ってまいりました。

本日は記念館の事業につきまして、昨年度の事業報告、また現在やっております 6 年度の事業について、また来年度の計画案ということでご説明いたしますので、今後の運営のために皆さまから忌憚のないご意見をいただきたいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

簡単ですがあいさつとさせていただきます。

（久保田副館長）

ありがとうございました。次に当館の嶽間澤館長よりごあいさつ申し上げます。

(嶽間澤館長)

嶽間澤でございます。運営協議会にご出席いただきまして、大変ありがとうございます。

今日は令和5年度の後半、昨年度の協議会以降、6年度の現在までの内容について、後ほど副館長・学芸員の方から詳しく説明させていただきますので、ご意見のほどよろしくをお願いします。

何点か新渡戸に関する情報、あるいはこの記念館の事業等についてお話させていただきます。最近、来館者とか、あるいは依頼されてお話する機会の際冒頭にこんなことをよく言ってます。今アメリカで知名度の一番高い日本人は誰ですかって言うと、ほとんど今日も出場しましたが、大谷翔平ですよね。多分そうだと思います。110年から120年前ですね、明治末期から大正・昭和にかけての一番知名度の高い日本人は誰かと、想像あくまでも想像ですが、これは新渡戸稲造じゃないかなと私は思うんですよ。ただ、今の状況と違うのは、対象が当時はやっぱり政治家とか、あるいは大学関係者とか、あるいは実業家、要するにアメリカのリーダー層ですね。当時一番有名な日本人と言ったら、最初に出てくる名前が新渡戸稲造じゃなかったか。100年ちょっと前の大谷翔平に、実は当たる人物が新渡戸稲造じゃないかと推察されます。共に花巻にゆかりのある人物であることも興味深く感じています。

ここ3年かけて新渡戸稲造の著書展、今日第3部の資料はお配りしておきましたが、新渡戸稲造といえば「武士道」という本が有名なんです、それ以外にも生涯48冊ほど出版しております。そのうち主なものを3年かけて8冊ずつ紹介したもので、今年3年目で、計24冊ほど、こういう本ですよと、こういう時期にこういうことを目的にこんなものを書いてますよと簡単な紹介をしたものが、3年間著作展ということで、実物も展示いたしましたし、それからその内容を紹介するこういうパンフレットを作成して完結いたしました。

来年以降はですね、この前も行いましたが後藤新平の講演会、実は昨年移動研修で後藤新平記念館に行ったんですよ。それで新渡戸の人生の前半に関しては、花巻出身の佐藤昌介っていう人物が6歳年上なんです、非常に大きな関わりを持ってる、後半については後藤新平が、ものすごく新渡戸を、こう世話するなり関わってくるんですね。それで後藤新平との関わり、非常に去年の移動研修で（後藤新平）記念館を見てから感じまして、今年は館長を呼んで講演をしてもらいました。来年度はですね、少し企画展で後藤新平と新渡戸の関係、特に新渡戸が見た後藤新平の魅力というよう

なことを取り上げて展示したいなと思っています。新渡戸が書いて後藤新平に宛てた手紙が、たくさん後藤新平記念館にあるんですよ。実は、新渡戸の手紙というのは、なかなか手に入らないんですね。もらった人があまり大事に扱っていない。新渡戸は、もらった手紙をものすごく貴重に扱っている。内村鑑三とか、あるいは後藤新平からもらった手紙なんか、彼はやっぱりそういう性格なんでしょうね。人からもらった手紙を非常にきちんと整理、保管している人物なんです。ですから、新渡戸が他の人に出した手紙というのはなかなか手に入らないんですが、後藤新平は結構取っていたんですね。そういったものも見er機会がありましたので、後藤新平の企画展来年いいんじゃないかなと、そう思っているところでございます。

それから、あの話は変わりますが、先日横浜からある女性が来館しまして、「シドモア桜」をこの記念館で植えないかという話がありました。新渡戸が日本から、日本をアメリカとか西洋に紹介した人物なんですが、シドモアさんはアメリカ女性で6歳年上なんですが、日本に対して非常に関心を持って、西洋の事情を日本に知らせた。あるいは逆に新渡戸と同じように、日本の魅力を海外に知らせたいという女性なんですが、その方がですね、(ワシントンD.C.の)ポトマック公園に日本の庭園を造るときに、日本の桜がいいんじゃないかということを紹介されて、東京市からたくさんの桜の苗木がワシントンに贈られたんですよ。その推薦者がこのシドモアさんということで、新渡戸も「排日移民法」で意見が合って、ジュネーブで一緒に仕事をしたり交流があった方なんです。その資料については、お手元の方にお配りしてあります。このシドモアさんが、アメリカに贈った桜の木ですね、その苗木を今度アメリカから、シドモアさんというのは最終的には横浜の外人墓地に葬られたんですが、そこに植えた、そのシドモアさんの横浜で育てた桜の苗木をシドモアさんの功績を顕彰しようということで、日本全国、今は横浜を中心に植えているそうなんです。ぜひ新渡戸さんに関わるところで植樹してくれないかと、そういう依頼がありました。それで、もし良ければ来年のフェスティバルに講演してくれないかということも、今打診中ですので、そういった内容も来年考えていきたいなと思っています。

この後、副館長・学芸員から様々な説明が、詳しい説明がありますので、ご審議のほどよろしくお願ひしたいと思ひます。

【委員及び事務局の紹介】(久保田副館長)

【会長の互選】

(久保田副館長)

それでは、続きまして次第には載っておりませんが、委員改選に伴いまして、会長の選出を行います。記念館の管理運営規則第8条第1項の規定によりまして、委員の互選により定めることとなっておりますが、委員の皆さまからの互選はございますでしょうか。

ないようでしたら、事務局案を提示させていただきますが、よろしいでしょうか。

(「お願いします。」の声)

それでは、事務局案を提示させていただきます。事務局案としましては、前任期でも会長を務めていただきました木村委員さんをお願いしたいと存じますが、いかがでしょうか。

(「異議なし。」の声)

はい、ありがとうございます。

それでは、木村委員さんに会長をお願いいたします。木村会長さんから一言ごあいさつをお願いしたいと存じます。

(木村会長)

2、3年前、(宮沢)賢治の妹トシさんの没100年でしたが、(トシさんの暮らした)1920年代に、これ新渡戸とどういう関係があるかなんですが、鉛温泉の近くにあった西鉛温泉に秀清館という4階建ての旅館があった。その所有が宮善さんでして、トシさんが「自省録」の執筆をする場所だったのかなと。ただこれは確定したものはないんですが、4階建てで西鉛温泉に行くときに、電車の軌跡から、3階分下がったところが河川敷ですから、電車が来るのが4階から見えるんですね。あそこの辺りにそういう建物が、ちょうど関東大震災とか、そういった時期に近代建築が建って、新渡戸さんが非常に活躍している時代、100年前とか150年前のこの辺りを考えると、想像がつかないくらいの建物。その当時は、やっぱり国際的に働いた方の影響が強いのかなというふうに改めて思っていてまして、それでいろいろ調べ始めますと、「鷺沢鉦山」に坑夫が1,500人働いていた。その家族も含めるとおそらく2,000人から3,000人の方が、あの辺一帯に生活していただろうと。そういったものの正確なものも、いろいろ研究会があって調べられているようですが、そこにそういう近代的な物が建っていたということに非常に興味がありまして、その当時、地方で列車が通るようになってから、ずいぶんこちらも発展するようですが、その先駆となった、いわゆる先人を

検証することは非常に大事なのかなと、特に当時の人たちの英語の能力はすごいみたいでして、私らはもう十何年も勉強してもさっぱり話もできないんですが、そういうその時代の先駆けとなったのは郷土の先輩であったと非常に心強く、いろんなところから検証して、この花巻の魅力づくりにこの記念館がなればなと思っているところです。

(久保田副館長)

ありがとうございます。

続いて会長職務代理者の選任ですが、記念館管理運営規則第8条第3項の規定により、会長が指名することとなっておりますので、木村会長さんからご氏名をお願いいたします。

(木村会長)

福盛田委員をお願いします。

(久保田副館長)

では、ご本人さんにはこちらの方から連絡させていただきます。

それでは、次第の3「議事」に入ります。議長は記念館管理運営規則第8条第2項の規定によりまして、会長が行うこととなっておりますので、木村会長さんよろしくをお願いいたします。

(木村会長)

それでは3の「議事」を進めさせていただきます。

(1)の令和5年度事業報告について、事務局から報告をお願いいたします。

【3 議 事】

(1) 令和5年度事業報告について

令和5年度事業報告についてを中島上席主査から、利用状況等の報告については久保田副館長から説明。

(木村会長)

はい、ありがとうございます。

今、事務局の方からいろいろ説明がありました。次に皆さんのご意見・質問をいた

だきたいと思っております。

(多田委員)

多田でございます。質問です。

1 ページの(3)の④(共同企画展バスツアー)ですが、これについて、参加者の関心度というのは、いかがだったのでしょうか。ぜひここに来たいと思って来てる方とか、全部の館を巡ってみたいとか、そういったところでこの館に関する関心度というのは、いかがなものだったのでしょうか。

(梅原生涯学習課長)

では私の方から。この事業は、生涯学習課の芸術文化係で企画しておりまして、昨年度は高村光太郎記念館、萬鉄五郎記念美術館、花巻新渡戸記念館の3館をバスで冬の時期に回りました。自分では先人顕彰の記念館に行ったことがなかったので、とても良かったというようなお声をいただいております。高村光太郎記念館は遠いので、冬はあまり自分では行けないということもあって、良かったようです。

(多田委員)

よかったですね。

続きまして、2 ページの2の(2)(開館記念行事「新渡戸フェスティバル」)になりますが、把握してるところでよろしいですが、お茶会を目指していらっしゃる方々について、どうだったのでしょうか。それから、童話村のフェスティバルや賢治記念館の方のイベントにかなりの人数の方々が集合しているようです。ここも駐車場として利用しているようですが、そういったフェスティバル関係で、ここに足を向けられる方々の状況について、もし把握してございましたらお願いいたします。

利用をして見ていく人が、わりといたとか。なかなかお茶会の宣伝が、いっぱいチラシをいただけてますが、一生懸命お茶の方々が毎年やってくださっているんですが、それ(お茶会)を目指していらっしゃる方々というのはどの程度か。

(嶽間澤館長)

私が把握した限りでは、お互い流派があって、そしてどこかの流派の先生がそういうお茶会をすると、お互いにこう招待し、やりますのでどうぞということではいらっしゃる方々もおります。大体20人から30人ぐらいかな。

(中島上席主査)

お茶会をやっていると来館者で関心のある方が結構いらっしゃって、楽しんでやっています。

(多田委員)

午前中の催し物と午後の催し物がありますから、私もお茶会に参加したいんですが、午後の講演も興味がありまして、午後になってしまうので、なんか申し訳ないというか。「来てね」とか「来るからね」「行くからね」とか会話はしていますが、なかなかその時間帯に合わせられないのでね。勿体ないところもありますけど、よく頑張っているんじゃないかって。せっかく企画して、よくやっていると、何とか大勢の方が来るようにもう少し周知できればいいなと思ったものですから、私も知り合いの人にお茶席あるよとかって宣伝はしてるんですが、どうだったのかなということでお伺いしました。

(久保田副館長)

二つ目の童話村のフェスティバルとおっしゃったのは、博物館での（アニメージュと）ジブリ展とかのことでよろしいですか。

(多田委員)

それもありますね。その他にも野外でやるのもありますし、7月・8月の市全体の展示関係のね。

(梅原生涯学習課長)

その時に童話村方面のお客さんで、こちらにも足を運んでくださる方がどのくらいいらっしゃるかという話ですね。

(多田委員)

その時は増えますとか、あまり変わりありませんとか。

(久保田副館長)

正直なところ、あまり変わりは…ただ実際には、（博物館のアニメージュと）ジブリ展に関してですが、シャトルバスが1時間に1本の運行でしたので、そのバスのタイミングによっては当館で時間を潰すという語弊がありますが、見て行ってくださる方もいらっしゃるし、逆に時間がなくてすぐ乗ってという場合もありましたので、

ちょっと一概にその期間は多かったというのではないかと思いますが、ただ普段よりは多少なりともこちらにも足を運んでくださったというか、見学してくださった方はいらっしゃるよう感じました。

あとはイーハトーブフェスティバルとかの時は、確かに当館が臨時駐車場にはなりますが、市内とかの人たちが集まるのも多いせいか、ここを見てという感じではなく、あくまで向こうに行くための臨時駐車場としての利用で、この辺だと当館とあと矢沢球場が臨時駐車場になっておりましたので、そういった状況かと思います。

(菅野生涯学習部長)

イーハトーブフェスティバルは、夜にかけて開催しますから、その後に行くということにならないのだと思います。

ジブリ展については、結構道路も混み合って、駐車場も確保しにくいということで、賢治記念館は、かえって入館者数が減ったと聞いています。

(多田委員)

なるほど。こっちに来ればいいですね。ありがとうございました。

あと一つ、4ページの委託料の部分で記念館周辺の管理について、ここの庭園が大変綺麗ですが、実際に管理に当たられる方々は、どういう方々になっておられるかなと。特別指定してやっていただくとか、職員を採用してやっているとか、あるいは、どの程度の頻度で手入れをしているのですかということをお聞きしたいです。

(久保田副館長)

シルバー人材センターに委託させていただいて、植樹の管理、冬囲いとか春先にまたその撤去ですとか、草刈りとかをさせていただいております。

(多田委員)

シルバー（人材センター）の方の計画でやってくださるわけですね。こちらでお願いするのではなく。

(久保田副館長)

こちらでお願いして、契約してやっていただいて..

(多田委員)

いついつこうしていただきたいというふうな。

(久保田副館長)

そうですね、何月にこんな作業をしてほしいというのはこちらの方で示して、日にちがいつになるかは向こうと調整しながらという形にはなります。

(梅原生涯学習課長)

契約書の中に仕様書をあらかじめ作っております。春だと剪定、何月に何をやってというのを（仕様書に）書いています。仕様を決めた上で契約を結んで、来ていただいております。

(多田委員)

一生懸命やってくださっているようで素晴らしいなと思いました。

(久保田副館長)

十分な管理ではないかもしれませんが、一応予算の範囲でやっていただいております。

(多田委員)

お答えいただきありがとうございました。

(嶽間澤館長)

なかなか市内にこういうりっぱな庭園もないですね。

(多田委員)

そうですね。

(嶽間澤館長)

ハナミズキもアメリカからいただいたの咲きますし。

(佐々木委員)

私から一つ補足というか、説明させていただければ。3ページの(3)④のところの「観光クーポン券の年度別利用者数」というところで、花巻観光協会のことを先ほど触れていただいたんですが、令和元年からの数字で見ますとかなり落ちているとい

うことなのですが、この令和2年・3年については、コロナということでの数字で致し方ない。そこからまだ乗り切っていないと、まだコロナ明けとは言いながらも、市内全体の観光客がまだ完全ではないということもあって、この数字だというふうに思います。

ただもう一つですね、懸念とていうか心配事がありまして、この数字は「どんぐりとやまねこ号」。新花巻駅で受けて、旅館に案内して、次の日旅館から新花巻駅にお送りするその行き来の中で、午前・午後コースに分けたり、1日コースだったりで販売しているんですが、移動手段を大型タクシーに委託しているんです。以前は、当日受けと前日受けというのもやっていたいたのですが、去年あたりから今年にかけて、当日受け・前日受けというのができないという状況にありまして。ここはもう1回、何とかならないかタクシー会社の方にお伺いしながら、交渉というかお願いはしていきたいなと思っているんですが、そういうこともあって、やっぱりお客さんが来てから「こういうのがあるなら行ってみよう」という方も結構おりまして、前日・当日というのもあったんですが、ここに来て、ちょっと取れなくっているという事情もございます。これはタクシー会社の方ともう1回、前日・当日ができないのか、うまくいかないのかというところをよくお聞きして、解決策があれば解決してやっていきたいと思っております。

その上の(2)の「入館者数の内訳」を見ると令和元年度が前年度に比べて90%ということは、それ以前はもっと来ていたということになるような気がしますね。

(久保田副館長)

はい、(入館者は)1万人は超えていましたので

(佐々木委員)

そうなのでしょうね。

なので、これについては「どんぐりとやまねこ号」は、そのコースに、事情によって入れたり入れなかったりということも過去にはあったりしたようなので、やっぱり花巻市の観光としての中心となるところは外さないように組んでやっていくように、これからやりたいなというふうに思っています。

(嶽間澤館長)

ぜひぜひお願いします。

私、何回も外される度に観光協会にお願いしに行くんですが、そうすると「今回は新渡戸を外しますよ」と言われ理由はわからないんですよ。観光協会のそれなりの事情があるようですけど。

(佐々木委員)

何の事情かわかりませんが、そういうふうにお聞きしていましたので。

(久保田副館長)

この④の表を見ていただけるとわかるように、観光協会さんの「どんぐりとやまねこ号」の人数は、毎年ありますが他のところはあったりなかったりという状況なので、当館としてはやっぱり観光協会さんの（「どんぐりとやまねこ号」の）人数はありがたいところですので、今後もよろしくお願いします。

(佐々木委員)

みんな「どんぐりとやまねこ号」を回してくれ回してくれと引っ張りだこで、あっちを通せばこっちに来ない、こっちを通せばあっちに来ないと大変なので。

(嶽間澤館長)

多分そうだと思います。ただ、県外から来た観光客は好評ですね。特に新渡戸のゆかりの地なんだ。新渡戸改めてすごい人だなと。

(佐々木委員)

全部いいようにはなかなか行かなくて大変申し訳ございません。

まずは、お詫びと今後の努力と一緒に申し上げます。

(木村会長)

他にございますか。

ないようでしたら、(1)の令和5年度の事業報告につきましては、いろいろ意見をいただきました。ありがとうございます。

続きまして、(2)令和6年度事業につきまして、ご説明をお願いいたします。

(2) 令和6年度事業について

令和6年度事業について、報告及び今後の計画を中島上席主査から、予算概要及び来館者アンケートについては久保田副館長から説明。

(木村会長)

はい、ありがとうございます。

ご意見を賜りたいと思います。このアンケートで国外の人はいないんですかね。

(久保田副館長)

アンケートを記入していただいた中ではなかったです。日本語で回答するのが難しいということもあると思いますが、アンケート用紙は日本語でしか用意していなかったもので、国外という回答はありませんでした。

(木村会長)

実際に入館される方では、結構いらっしゃるんですか。

(久保田副館長)

そうですね。中国・韓国等東南アジア系なのか、ちょっと国籍まではわかりませんが、

(佐々木委員)

花巻は台湾がほとんどなんですよ。新渡戸稲造が台湾で大変頑張って尊敬されているんですよね。そういう繋がり台湾からの旅行者が花巻は多いので、

(久保田副館長)

そちら（台湾）の方なのか、ちょっと国籍まではわからないので、

(佐々木委員)

中国（人）らしいというふうに感じた方は、100%台湾の方。

(菅野生涯学習部長)

個人旅行もですか。

(佐々木委員)

個人旅行もそろそろ来始めてますよね。

(木村会長)

なんとなく入館者には海外の方も多と思うけど、その辺を聞きたくて。

(佐々木委員)

もう少し新渡戸さんだったら、台湾から来ているような気がしますけどね。

(嶽間澤館長)

ポツポツと来てますよ。

(佐々木委員)

そうですね。

(嶽間澤館長)

許文龍さんという日本で言えば松下幸之助さんみたいな実業家の方から贈られた銅像があるんですよ。それ言うと「許文龍さん、ああそうか」って知ってる方も。

(木村会長)

その辺の数字があればなと思って、質問したんです。

(嶽間澤館長)

表示が日本語で書いているから気付かないかも知れない。とやっぱりアンケートに台湾語とか英語とかの表示も必要かもしれない。

(久保田副館長)

そうですね、海外の方から記載していただくためには。

(嶽間澤館長)

パンフレットは用意しました。

(多田委員)

他の館でアンケートのようなもので外国人向けに出しているというところはあるんですか。

(嶽間澤館長)

説明は用意している。いろいろな表記とか表示はしていますけど。

(菅野生涯学習部長)

アンケートまでは聞いたことがないです。

(佐々木委員)

温泉郷も訪れた数字、人数は取っていますが、その方々からのアンケートというのは、やっぱり取れてないんですよね。

(木村会長)

他にございますか。よろしいですか。

それでは進めます。(3)の令和7年度事業計画(案)についてご説明願います。

(3) 令和7年度事業計画(案)について

令和7年度事業計画(案)についてを中島上席主査から、管理運営については久保田副館長から説明。

(木村会長)

はい、ありがとうございます。

ご意見がありましたらどうぞ。よろしいですか。

(多田委員)

奮起激励で。新渡戸記念館の知名度が大変高くなってきていると思いますし、とても良いというお話をそっちこちで聞きます。企画運営から何から一生懸命やっているということで、評価が高くなっているなと思います。館長さんはじめ、皆さんのご努力が現実になって、外に出ているんだと思いました。

今後とも一層の奮起で、ご苦労さまです。よろしくお願いいたします。

(嶽間澤館長)

ありがとうございます。お褒めの言葉大変ありがたく頂戴いたしました。

やる気満々になります。

(木村会長)

今時分外で銅板が狙われてですね、館内の警備はあるでしょうが、外部に防犯カメラみたいなものはあるんですかね。

(久保田副館長)

外部にはないですね。内部にしか、防犯というか(警備用)カメラは。

(木村会長)

特に銅板が高騰しているようですので、公共施設内の警備もさることながら、(外部も)一考する部分があればなど。

(多田委員)

いや、本当にこの防犯っていうのは手の施しようがないですよ。

(木村会長)

あとございますか。議事3の(1)から(3)までにつきまして、なければ議事のところは閉めさせていただきます。どうもありがとうございました。

(久保田副館長)

会長ありがとうございました。

【4 その他】

(久保田副館長)

それでは、次第に沿いますと「4 その他」になりますが、特に事務局側で用意していたものはないですので、もし皆さまの方から何かあればということで、その他としておりましたが、何でも。

佐々木委員から、令和5年度の運営協議会で提案された「新渡戸ロード」について、実際にルートを散策してみて、新渡戸稲造や他の花巻の先人・歴史を知る事ができて良いと感じ、花巻観光協会内でも令和7年度へ向けて、何か企画できないか検討しているとの状況報告があった。

(久保田副館長)

他には特によろしいでしょうか。ありがとうございました。

それでは4まで終わりましたので、本日は貴重なご意見等ありがとうございました。

【5 閉 会】(久保田副館長)